

さくら組 (0・1歳児)

クラスだより

1月

新しい年2019年がスタート！元気いっぱい、笑顔いっぱいに過ごしていきたいと思ひます。

4月からはもも組に進級する21人の子どもたち。自分で出来ることが多くなり、心も体も成長している姿が見られます。

0歳児7人の子どもたちも、言葉が増え離乳食が完了食・幼児食へと移行し、歩行もしっかりとして活発になってきました。

今年も保護者の方と一緒に子どもたちの成長を応援し、見守っていききたいと思ひます。

本年もどうぞよろしくお願ひいたします。



今月の保育のねらい

養護・生活のリズムを整えながら、一人一人の体調や感染症に留意し、健康に過ごせるようにする。

教育・外気のなかで寒さを経験し、保育者と一緒に雪や氷など冬の自然に触れるなどして探索を楽しむ。



～まだまだ終わらない??～

12月に行われた生活発表会では、4月から読み聞かせをしてきた「まあるいたまごのうた」に合わせて「かいじゅう」や「ひよこ」になって表現遊びを楽しんだ子どもたち。

また「生活発表会」という大きな舞台でも自分たちなりに表現をして自信をつけた様子です。

生活発表会が終わりましたが、「かいじゅうグループ」「ひよこグループ」に分かれてリトミックを楽しんでいます。子どもたちも覚えてくれて「かいじゅうグループさん!」「ひよこグループさん!」と呼びかけると「はい!」と返事。しっかり子どもたちの活動の中に「かいじゅう」「ひよこ」が入っているようです。この流れを「作品展」に向けていきたいと思ひます。

指先の力や器用さが発達し新聞や紙をビリビリする大好きな遊びを造形活動につなげ、生活発表会で表現した「たまごのうた」の世界を作りたいと考えています。

さて、0歳児の子どもたち。サンタさんになってとっても可愛かったですね。よっぽどサンタの衣装が気に入ったのか、生活発表会が、終わっても衣装を見ると「着せて!」とアピール。お部屋の中でサンタさんの衣装を着て0歳児の子どもたちは遊んで大満足で、可愛いサンタさんが元気いっぱい遊んでいるさくら組の保育室です。



ちょっぴり緊張したけれど楽しかった生活発表会。

子どもたちの中では「まだまだ終わらない」様子です。この子どもたちの気持ち・意欲を大切に受け止めて次の活動につなげた保育をしていきたいと思ひます。

4月から取り組んできた指先の発達を促す「新聞遊び」や「絵本の読み聞かせ」から表現遊びとして発表した「まあるいたまごのうた」を造形活動として作品展へと繋げたいと思ひます。

1月の行事予定

1日(火)	お正月休み
2日(水)	
3日(木)	
4日(金)	
5日(土)	
6日(日)	
7日(月)	平常保育開始 七草粥
8日(火)	リトミック
9日(水)	室内遊び
10日(木)	お正月遊び
11日(金)	戸外に出られる日は外に出て遊びます。
12日(土)	
13日(日)	
14日(月)	成人の日
15日(火)	どんど焼き
16日(水)	リトミック
17日(木)	室内遊び
18日(金)	戸外に出られる日は外に出て遊びます。
19日(土)	
20日(日)	
21日(月)	身体計測・つめ検査
22日(火)	お誕生会
23日(水)	
24日(木)	作品展
25日(金)	
26日(土)	
27日(日)	
28日(月)	リトミック
29日(火)	室内遊び
30日(水)	戸外に出られる日は外に出て遊びます。

1月の歌

お正月・たこあげ・雪・こんこんくしゃんのうた・北風小僧のかんたろう・雪だるまのチャチャ・豆まき・鬼のパンツ

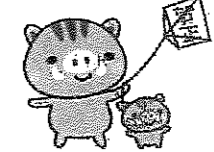
など

家族でほっこり『お正月遊び』

昔から親しまれているお正月遊び。羽根つき、こま回し、ふくわらいに、すごろく。いろいろありますが、それらに意味があるのをご存知ですか? 例えば羽つきには厄払い、凧揚げには願ひ事を乗せて天に届けるなど。

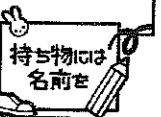
“今年も幸せな一年になりますように…”と、ほっこりとお正月遊びを楽しみながら、家族みんなが笑顔で年明けを過ごせたらいいですね。

幼稚園でもお正月遊びを楽しみたいと思ひます。



1月7日(月)より平常保育が始まります。お布団・パジャマ・園庭履き・カラー帽子など忘れ物がないようししてください。

お休み中に「名前」を確認していただき、書き直して頂くなどお願ひいたします。



戸外に出られる日は時間帯等に配慮して外で遊びます。「外遊び」可能か健康状態をノートに記入して頂くか送ってこられた時に担任までお知らせ下さい。

長時間はできませんが、雪が降った日は「雪遊び」もしたいと思ひています。

ジャンパーや長靴をはいて登園する・雪遊びの準備(靴下・手袋など)をお願ひ致します。

0歳児は外での雪遊びはできませんが、お部屋から雪の降る様子を見たり雪を触ったりするなど初めての冬・雪を体験したいと思ひます。ジャンパーや長靴の準備はいりません。

